

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	あいりいず			
○保護者評価実施期間	R 8 年 5 月 20 日		～	R 8 年 6 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R 8 年 5 月 20 日		～	R 8 年 6 月 10 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 6 月 2 5 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主たる対象者が重症心身障害児なので、ほぼマンツーマンで対応しており、細部にまで目が届く	複数のスタッフがその子に関われるようになるため、子どもにストレスがかからないように配慮し、様子を見ながらOJTなどを行っている	翌朝のミーティングで振り返りを行い、気づいたことなどを共有している
2	活動では、個別集団を問わず、その子のペースに合わせて行っている	その日の活動内で、クリアして欲しい目標を決め、スタッフと楽しみながら行っていくが、目標を達成することが重要なのではなく、経験する、楽しむを重点に置くことを継続している	何回かに分けて仕上げる製作物も、その都度達成感を味わえるように声掛けにも気を配っていく
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少ない。	ちょっとした環境の変化にも敏感な子もいるため、慎重に計画を立てる必要がある 親御さんの中には、外部との交流の必要性を感じない方もいる	同一建物内の生活介護の方たちとの交流が少しずつではあるができるようになってきた
2	保護者同士や兄弟同士の交流がない	休日などに日程を組むのは、職員の勤務の関係で難しい面がある。一方、平日では保護者や兄弟などの参加が難しいといった面がある。	休日出勤の代休が取れるくらいのスタッフの充実を図るようにしている。
3			